

沖縄防衛局として第一歩

昭和四十七年五月十五日に発足した那覇防衛施設局は、防衛施設庁が廃止され、改編された防衛本省へ機能が統合されることにより、県民の皆様のご理解とご協力を得つつ歩んできた三十五年間の歴史に幕を下ろし、本年九月一日から、新たに沖縄防衛局としての第一歩を踏み出すことになりました。

沖縄防衛局においては、これまで那覇防衛施設局として行ってきた業務は同様に継続され、更に今後は、防衛省の諸政策の企画・立案の過程で必要となる地方公共団体との調整や意見集約などの事務（協力確保事務）を行うとともに、地方協力本部や各自衛隊とも連携するなど、中央において企画・立案された

諸施策・政策を実現し、国と地方公共団体との綿密な連携体制を強化する役割を担う組織として、県民の皆様の負担を皮膚感覚で感じ取れるような防衛行政を行うべく、職員一同努力して参りたいとの思いです。

広報紙「はいさい」においても発刊の理念を忘れず、防衛省における諸施策や課題等を県民の皆様幅広く情報として提供し、これまで以上の厳しい批判

や意見を受けることにより、少なからず県民の皆様のご理解とご協力が得られるよう、更なる積極的な広報活動を行う所存です。

新体制下において、名称も広報室から報道室となり、これまで以上に「はいさい」が読者の皆様から発刊を心待ちされるような紙面作りを心掛けていきます。いとの思いを新たに outlets します。

(報道室)

せえ ふあ う たき
斎 場 御 獄
 (南城市)

施設取得第1課 田浦 芳邦 作

琉球開びやく神話の神「アマミキヨ」によってつくられたと伝えられている。琉球最高の神職であった聞得大君の即位儀礼が行われた聖地として名高い。2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録された。

沖縄防衛局が新たにスタート

■ 防衛施設庁の廃止・統合により、防衛行政全般の地方における拠点確立するため、防衛省の地方組織として、全国8カ所に地方防衛局が新設され、沖縄県内における防衛行政の拠点として、**9月1日から沖縄防衛局が新たにスタートすることになりました。**

■ 沖縄防衛局は、これまでの那覇防衛施設局が果たしてきた役割も受け継ぎつつ、

- ・ 防衛省の施策を地元丁寧に説明
- ・ 防衛施設の整備に伴う各種の地元との調整
- ・ 米軍再編に関連した地元への説明
- ・ 部隊の新改編に伴う地元との調整

などの業務を行い、地元との協力関係を築いていきます。

沖縄防衛局 各部等の主な業務

総務部 — 総務課、会計課、報道室などの他、新たに建設工事の調達契約などを実施する契約課が設置されました。

企画部 — 地方公共団体との政策的調整窓口として一元化を図るため、地方調整課が設置されました。また、防衛施設の設置・返還に係る地元調整、基地周辺対策等の業務を行います。

調達部 — 防衛施設の建設工事に関する業務を行います。

管理部 — 防衛施設の管理・取得・補償に関する業務の他、在日米軍の構成員等による事故等の損害賠償に関する業務を行います。

労務管理官 — 在日駐留軍従業員の労務管理に関する業務を行います。

会計監査官 — 会計監査機能を強化するため、総務部（契約部門）から独立した会計監査官が置かれます。

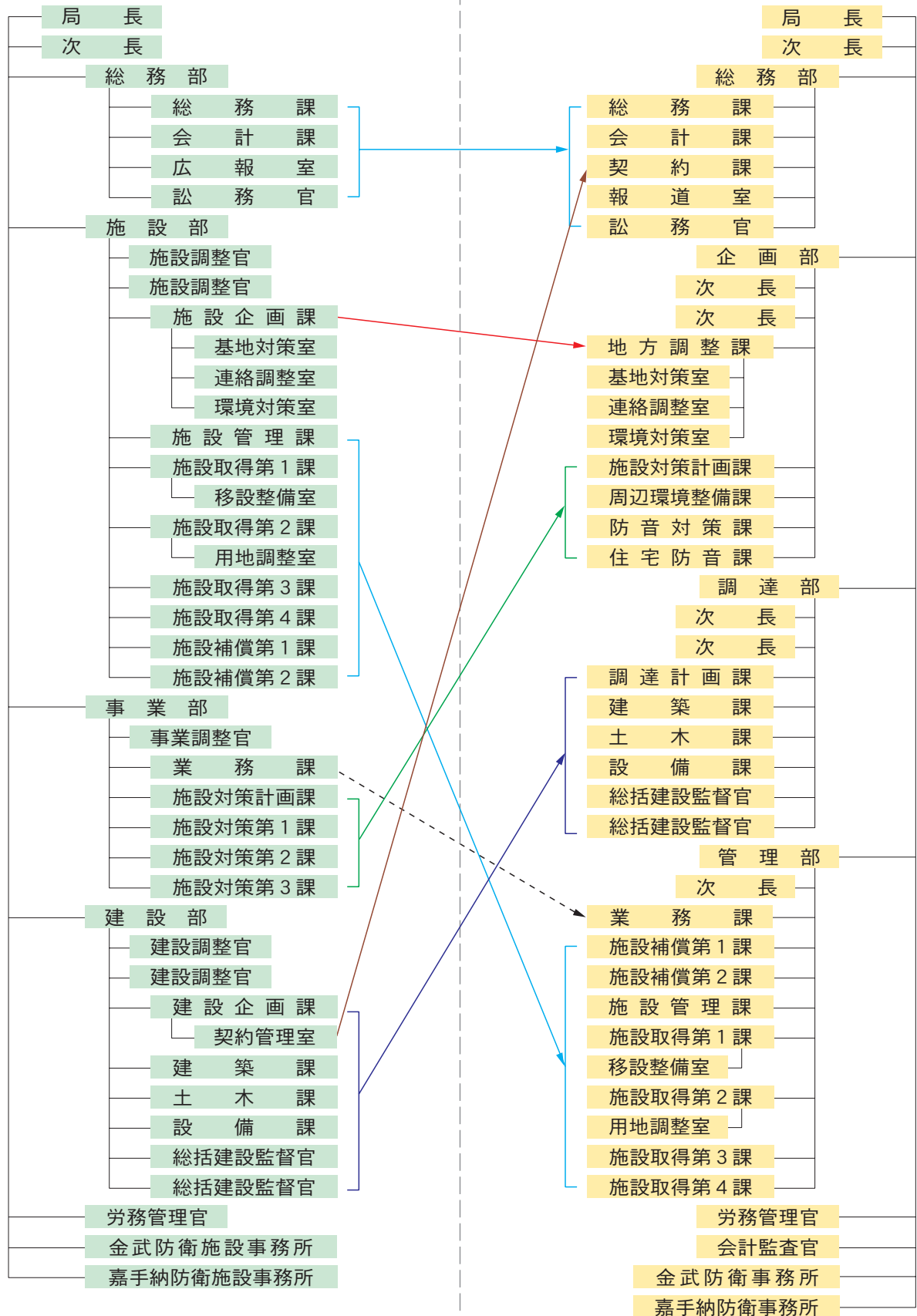


今後とも450名の職員一同
一生懸命頑張りますので、
県民の皆様よろしくお願い致します

那覇防衛施設局から沖縄防衛局へ

那覇防衛施設局（改編前）

沖縄防衛局（改編後）



コザ・ミュージックタウン 完成

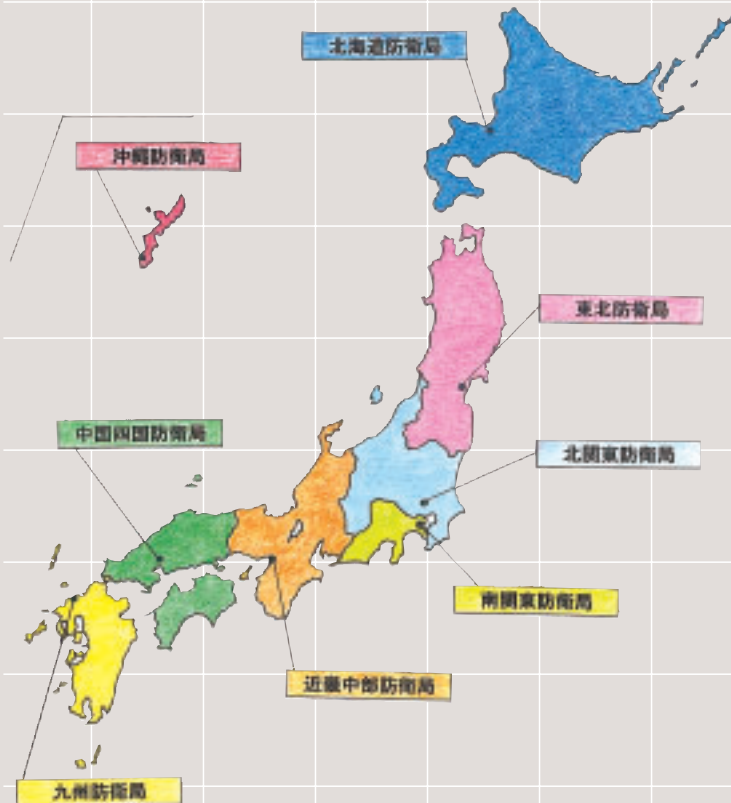


沖縄市中の町にコザ・ミュージックタウンが完成し、去る七月二十七日に落成式典が行われました。

このミュージックタウンは、音楽文化や音楽産業の振興、さらには市民への音楽文化の普及を進めることにより地域の活性化を目指し、音楽による新たなまちづくりを実現するため建設されたものです。

本施設の一階と三階部分には、沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業（島田懇談会事業）により、ロックやポップスなどあらゆる分野の一流アーティストに対応できる音楽機材を備え、千人余の観客を収容できる本格的なコンサートホールや屋外イベントのための音楽広場などが整備されており、地域活性化の拠点として大いに活用されることを期待しています。

全国8カ所に 地方防衛局が 新設されました



平成19年版 防衛白書 刊行



防衛白書は、我が国防衛の基本について国民の理解を深めるため毎年刊行しているもので、平成19年版で33回目になります。

19年版防衛白書は、防衛省移行後初の白書であることから、防衛省移行と国際平和協力業務等の本来任務化について、詳しく解説しています。また、北朝鮮による弾道ミサイル発射や核実験実施発表と我が国の対応、日米安全保障体制の強化、イラク人道復興支援活動をはじめとする国際平和協力活動への主体的・積極的な取組などについて記述しております。

防衛白書の入手先は、

「沖縄・政府刊行物サービス・センター（那覇市おもろまち・那覇第2地方合同庁舎1号管内）」などで取り扱っています。